



谷戸大竹レポート

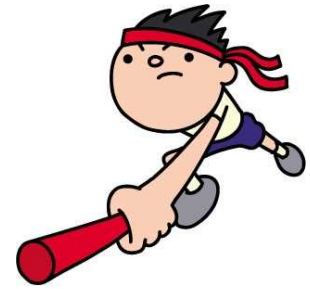
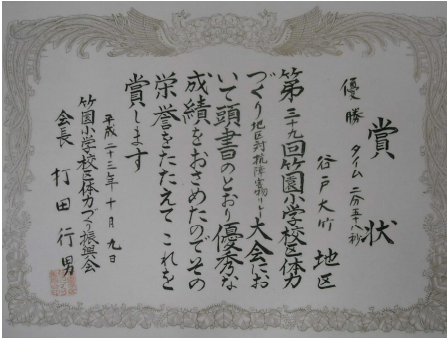
第5号

伊勢原市・谷戸大竹自治会

平成23年11月16日

10.9 体育祭

障害物リレーで優勝！ 大縄跳びは第2位！

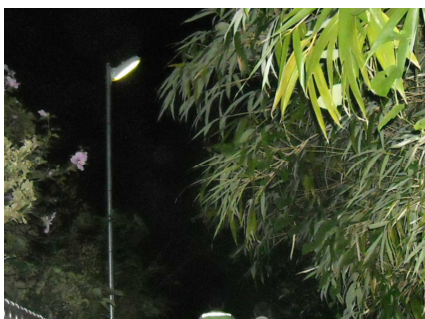


ちょっと明るくなりました！

防犯灯を5灯増設、灯数で20%up

当谷戸大竹地区の防犯灯がこのほど5灯の増設となり、これまでの26灯から31灯になりました。灯数で約20%分の増設です。近年の新規設置がほとんどなかった（10年前の平成13年は24灯、その後は2灯の増のみ）だけに、それを埋め合わせるような、大幅新規設置です。（なお新規設置5灯のうち4灯は10月に設置済み、残る1灯は年内設置予定）。

畑が広がり、緑も多くて、昆虫や野鳥も豊富（カラスが特に多い？）で自然環境に恵まれた当地区ですが、その分、住宅密集地は少なく、家々から漏れる光も、防犯灯も僅かなので、夜は薄暗い場所が多くなるのが当地区の特徴です。しかしこれは喜ばしい特徴ではなく、防犯上からは欠点とも言えるものです。そこで自治会としてこれを少しでも解消しようと、本年春、市交通防犯課に、一気に5灯新規設置の申請をしたものです。その時点では、当地区の規模からして「5灯を年度内に増設するのは難しく、一部は来年度持ち越しとなる」と言われたのですが、最終的にはこの結果となりました。ありがとうございました。市交通防犯課はじめ関係の方に御礼申し上げます。



田中さんの善意も実を結ぶ！

また、残る1灯の新規設置分は、左写真の私的設置ポール防犯灯に代わるものです。このポール防犯灯は、3班の田中宏明さん（東大竹1503番地）が本年の初めにご自宅のフェンス沿いに自費で立てて下さり、電気料金もご負担して下さっているものです。田中さんのご自宅の前の道は、1班の人たちと集会所をつなぐ近道で、かなりの人が利用していますが、夜は暗い暗い道……。そこで田中さんが、「善意の防犯灯」を立てて下さったものです。

そして自治会は、この善意の事実をすぐに市交通防犯課に伝え、市防犯灯への即時切り替えと電気料金の市負担を要請しました。それからかなりの時間が経過しましたが、その要請がようやく聞き入れられた次第です。田中宏明さん、ありがとうございました。

【自治会の皆さんへ】

当自治会では、当地区内の暗い場所、防犯灯を設置したい場所について、常に情報を求めています。班長さんはじめ自治会役員に是非お知らせ下さい。但し防犯灯設置の原則は既存の電柱に限ること、要望しても即時設置となるものでもないこと、は、ご理解下さい。

9.18 敬老会

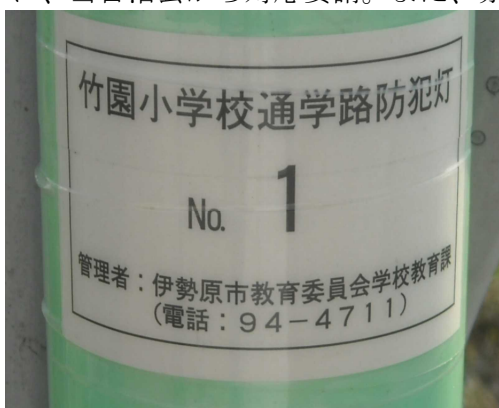
元気がいちばん!



7.2 ふれあい懇談会

竹園小に通う児童たちの親、同小の先生、自治会の役員などが集まった「ふれあい懇談会」が今年も7月2日(土)に、谷戸集会所で行われました。毎年、この懇談会で出される要望や意見には差し迫ったものが多く、今年も真っ先に出されたのが、右写真の「通学路の歩道に乗り上げて走る車両」の問題。当地区や八幡台一と八幡台二が通学路としているひかり幼稚園下側(東側)の曲がり角。自治会がすぐに市土木維持補修課に対応要請し、右下の写真のポールを立ててもらいました。

この曲がり角を小学校方面に少し歩いた場所の防犯灯が桜の枝に隠れてしまっている問題は、同防犯灯管理の自治会に、当自治会から対応要請。また、赤い道通学路のポール防犯灯(市教育委員会管理)が切れたままが多い問題も出されました。その防犯灯は12灯あり、ポールにはナンバーも、管理者も記されていないので不点灯に気付いても連絡が難しいという問題もあり、それらも含めて自治会が教育委員会に対応要請しました。その結果、ポールに左写真のような表示がなされ、球切れに気付いたら誰でもが連絡可能となりました。安全な通学路、明るい暮らしがいつもあるといいですね。



東日本大震災義援金



伊勢原市自治会連合会は本年3月、東日本大震災義援金を市内101自治会に協力要請。当自治会はそれに応えて、5,000円を義援金として拠出しました(協力基準に沿う金額です)。なお市内101の自治会から寄せられた義援金は、総額1,352,560円でした。4月11日、自治会連合会会長から市長に手渡されました。以上、報告いたします。